

社会人（リカレント専門選抜）の入学要件について

次の各号のいずれかに該当する方。ただし、外国人留学生は除きます。また、地域政策研究（社会人）コースに出願できるのは、地方議員（経験者を含む）と現職の自治体職員に限ります。

- (1)入学時に、大学卒業後（外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方を含みます）、若しくは学士の学位取得後1年以上の職歴を有し、かつ、現在有職（アルバイトを除く）の方
- (2)入学時に、大学卒業後若しくは学士の学位取得後3年以上経過している方
- (3)入学時に大学を卒業、若しくは学士の学位を取得しており、かつ3年以上の職歴を有する方（両条件の前後関係は問いません）
- (4)本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、入学時に3年以上の職歴を有し、かつ、現在有職（アルバイトを除く）の方で、23歳に達する方
- (5)大学を卒業、若しくは学校教育法第104条第1項の規定により、学士の学位を授与された方で、勤務先からの推薦により在職のまま派遣される方

出願期間と入試日程について ※令和7年度入学生募集分（令和7年度4月入学）

出願期間

【秋入試】
令和6年8月16日（金）～令和6年8月22日（木）
【春入試】
令和6年11月21日（木）～令和6年11月27日（水）

入試日程

【秋入試】令和6年10月5日（土）
【春入試】令和7年2月1日（土）
【試験場】茨城大学人文社会科学部
（茨城県水戸市文京2-1-1）

学費について ※令和7年度入学生募集分（令和7年度4月入学）

入学金 282,000円／授業料 267,900円（年額535,800円）

入学金については免除及び徴収猶予制度、また、授業料については免除及び徴収猶予並びに月割納付制度があります。連携協定を結んでいる自治体（石岡市、茨城町、小美玉市、鹿嶋市、常陸大宮市、水戸市）の職員の方は、申請すれば入学金が免除になる制度があります。

社会人向け相談窓口のご案内

大学院で学び直すことを希望する社会人向けの相談窓口を設置しています。下記までお気軽にお問合せ下さい。

場所：茨城大学人文社会科学部（担当：学務グループ）

電話：029-228-8106

メールアドレス：hum-gakumu@ml.ibaraki.ac.jp

修了生の声

水戸市職員として勤務する私は、地域課題解決への糸口を探るため、茨城大学大学院へ進みました。研究ではマンション建設による地域経済への効果を明らかにし、水戸市へ政策提言を行いました。大学院で学んだ社会調査、EBPM、計量分析、経済地理、GIS等は現在担当する自治体DXの仕事にも役立っています。社会科学の学びは、地方の発展に貢献したいという思いを持つ人にとって強力な基盤になります。ぜひ勇気を持って大学院の門を叩いてください。

P.S. 私は軽音楽サークルにも加入しておりました。プロフィール写真は茨苑祭でドラムを叩いているところです。講義にゼミにサークルに、大変有意義な学生生活を送ることができました。

社会科学専攻
地域政策研究（社会人）コース
小林 奨



茨城大学大学院 人文社会科学部 研究科

人文社会科学部 での過ごし方

社会人のみなさまへ

あなたの挑戦が、 社会に新たな希望をもたらす

2025年4月から
「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」が
スタートします。



令和7年度入学試験の募集要項やパンフレットは、
本研究科のホームページから入手できます。
<http://www.hum.ibaraki.ac.jp/graduate-school/>



人文社会科学研究科ってどんなところ？

深い専門性×広い視野を育む

■研究科の目的

本研究科では、人文科学あるいは社会科学に関する探求を通じて、高い専門知識と能力を持ちつつ、複眼的な視野で物事を判断し、多様な人びとと協働しながら社会の持続的な発展のために寄与する人材を育成することを目標としています。

■専門性の深化と幅広い視野の涵養

社会人学生は、一般学生や留学生と同様に、下記2専攻・9コースの中から、どれか1つの専門領域を選び、体系的に学びます。

人文科学専攻

- ・文芸・思想コース
- ・歴史・考古学コース
- ・心理・人間科学コース
- ・公認心理師コース

社会科学専攻

- ・メディア・情報社会コース
- ・国際・地域共創コース
- ・法学・行政学コース
- ・経済学・経営学コース
- ・地域政策研究(社会人)コース※

※自治体職員・地方議会議員を対象としたコースです。

■社会人入試について

入試は、「秋入試」と「春入試」の2回実施されます。大学院で再び学び直すことを希望する社会人のために、入試において特別選抜(「リカレント専門選抜」による入試)を行っています。社会人で入学後も勤務を継続する方は、出願時に所属長が作成した受験承諾書等を提出することで、専門科目にかえて、小論文の筆記試験が課されます。詳細は、本研究科の募集要項をご覧ください。

■社会人学生のための制度

職業を有する方の修学の便宜を図って、長期履修制度や休日・夜間開講等の仕組みも設けられています。休日・夜間開講を希望する場合、出願前の確認が必要です。詳細は、本研究科の募集要項をご覧ください。



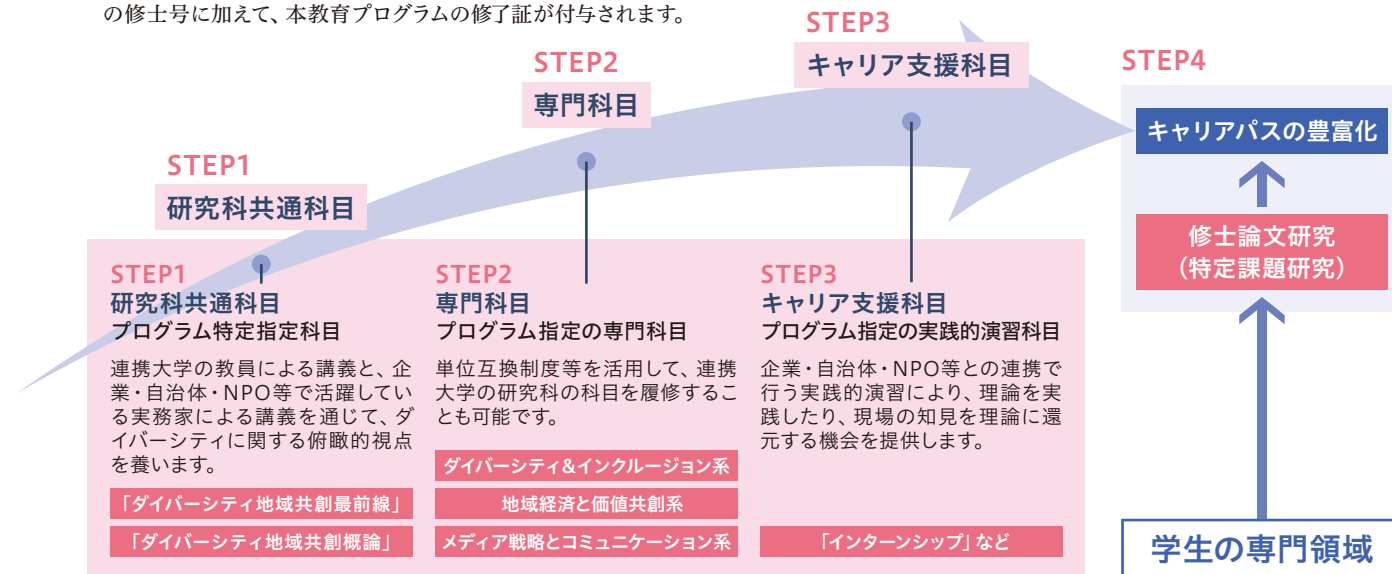
令和
7年度
から

『ダイバーシティ地域共創教育プログラム』が始まります

※本教育プログラムは、文部科学省「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」(令和5年度採択)の支援を受けています。

「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」のカリキュラム(イメージ)

- ・本教育プログラムの科目には、ダイバーシティに関する幅広い視点を提供するものから、最新のダイバーシティ・マネジメントに関するもので、豊富な内容が用意されています。
- ・学生は、自分の専門領域に加えて、サブメジャーとして本教育プログラムを履修します。所定の修了要件を満たした学生には、自分の専門領域の修士号に加えて、本教育プログラムの修了証が付与されます。



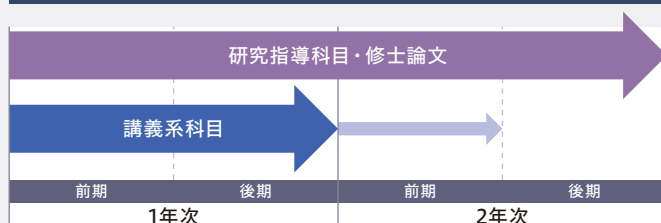
社会人学生の履修モデル

長期履修制度について

職業を有している等の事情による修学の困難さのある学生は、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができます。

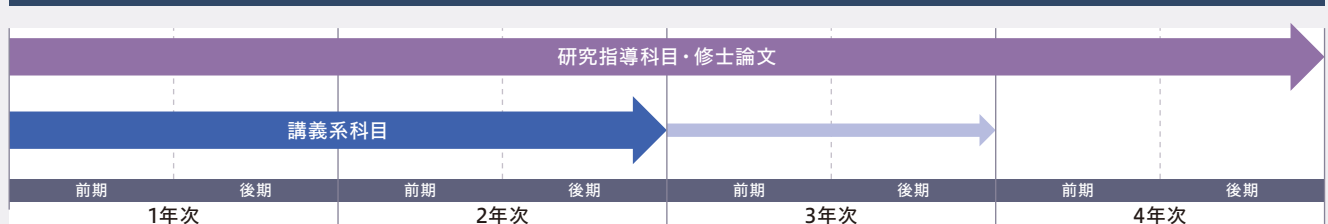
長期履修学生として認められた場合、授業料は、2年分の授業料総額を、認められた一定の期間に学期毎に均分して支払うことになります。

2年間での履修モデル



4年間での履修モデル

※長期履修制度の利用によって仕事との無理のない両立が可能です



※上記の履修モデルは、あくまでも目安となります。講義等の受講期間は、指定単位数の取得状況や働き方等によって異なります。

働き方によって、履修期間の延長や柔軟な時間割設定が可能です。
実際の修了生の履修例から、学び方のイメージを膨らませてみませんか。

働きながら2年間で修了した修了生の例(地域政策研究コース所属、1年次前期の時間割)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限					
2限					地方政治論研究Ⅰ
3限			特定テーマ演習		
4限			特定テーマ演習		
5限			テクノロジーと人間社会Ⅰ	行政学研究Ⅰ	
6限			社会科学研究法	専門基礎科目	

長期履修制度を利用して4年間で修了した修了生の例(人間文化コース所属、同上)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限	地球環境システム論Ⅰ	行動文化論研究Ⅰ			
2限		心理臨床論研究Ⅱ			
3限					
4限					
5限					
6限					